

村と人 81



住んでいるからこそ 描ける絵を 中尾和弘さん(第八駐在)

洋画家の中尾和弘さん(第八駐在)。12年前に熊本市から移り住み、移住後に結婚した奥さんと息子さんと一緒に暮らすご自宅にアトリエを構えて油絵を描かれています。

半導体の設計士として働いていた中尾さんが絵筆をとったのは25歳の時。祖父の画材一式を譲り受けたことがきっかけで、その後展覧会で出会った画家の先生に師事して絵を描き続けました。9年前に「絵でやってみよう」と決意し、画家としての道を歩み始めたそうです。

依頼を受けた絵の制作や絵画教室での指導を行うほか、村の小学校で部活動に代わる「放課後きらめきクラブ」の中

で子どもたちにも油絵を教えている中尾さん。「子どもたちと接すると、元気や制作のヒントをもらうこともあります」と話されます。

阿蘇の風景、特に今は「雲」に魅力を感じているそうで、現在は4月の展覧会に出展するための風景画を制作中。

「絵を描くことは自分を高めていけること。人との交流のきっかけにもなるし、人生が豊かになる。これからも阿蘇の絵をずっと描いていきたいと思います」と、生涯キャンパスに向かい続ける気持ちを語っていただきました。

「村と人」を募集しています

南阿蘇村(出身でも可)で、何かに挑戦している人や頑張っている人(団体)、活躍している人を紹介します。年齢、自薦・他薦は問いません。たくさんの方の応募をお待ちしています！

【申し込み・お問い合わせ】
政策企画課企画係
Tel (67) 2230

今月の一枚

春を呼ぶ野焼き



地域住民や消防団の協力の下、村内各地区で野焼きが行われました。白川牧野では震災後4年ぶりの火入れとなりました。

3歳の誕生日を迎えるお子さんを募集します

■応募方法 誕生月の前月5日(5日が休日の場合は5日以降直近の平日)までに、写真・一言コメント・お子さんの氏名と生年月日・保護者の氏名・連絡先を添えて役場政策企画課企画係までお申し込みください。

【お問い合わせ】 政策企画課企画係 Tel (67) 2230

編集後記

▶なかなか収束の気配を見せない新型コロナウイルス感染症。村内のイベントなども中止や延期となり、小中学校も休校になるなど、村民の皆さんの生活にも影響が出ています。不安を感じている方もいらっしゃると思いますが、手洗いうがいや消毒、換気など、自分にできる予防にしっかり取り組みましょう。▶先日行われた野焼きでは、写真撮影に行った山の上でふきのとうを見つけました。イベントは中止になりましたが、村内各地の桜も綺麗に咲いています。身近な春を見つけて明るい気分になりました。 ㊦

人口

南阿蘇村	男	5,037 (±0)
	女	5,372 (-10)
	計	10,409 (-10)
	世帯数	4,538 (+5)

令和2年2月29日現在
(前月比)